

# 第6回これからの北海道立近代美術館検討会議

日時：令和4年（2022年）11月2日（水）10：00～

場所：Web会議システムZOOM

## 次 第

### 1 開会

### 2 議事

- (1) ミッション・コンセプト案検討プロセス
- (2) 道民意見聴取の状況
- (3) 運営方法のあり方

### 3 閉会

#### ■ 配付資料

- ・資料1 ミッション・コンセプト案検討プロセスについて
- ・資料2 美術館利用者等の意見
- ・資料3 運営方法のあり方

# 議 事

---

## 第6回これからの北海道立近代美術館検討会議 出席者名簿

### ○ 構成員

所 属 ・ 職	氏 名
株式会社haku 代表取締役	菊地 辰徳 <small>まくち たつのり</small>
北海道大学 名誉教授	北村 清彦 <small>きたむら きよひこ</small>
北海道教育大学釧路校 教授	佐々木 宰 <small>ささき つかさ</small>
北海道大学大学院文学研究院 教授	佐々木 亨 <small>ささき とおる</small>
前札幌芸術の森美術館 館長	佐藤 友哉 <small>さとう ともよし</small>

(敬称略、五十音順)

### ○ 道教委

所 属	職	氏 名
教育庁	生涯学習推進局長 (兼)道立近代美術館担当課長	山上 和弘 <small>やまがみ かずひろ</small>
教育庁生涯学習推進局 文化財・博物館課	課 長	高見 里佳 <small>たかみ りか</small>
	課長補佐	遠藤 新理 <small>えんどう しんり</small>
	係 長	福士兼太郎 <small>ふくし けんたろう</small>
	主 事	伊藤 拓朗 <small>いとう たくろう</small>
	主 事	宮下 直之 <small>みやした なおゆき</small>
北海道立近代美術館	副 館 長	松田 俊也 <small>まつだ としや</small>
	学芸副館長	中村 聖司 <small>なかむら せいじ</small>
	総務企画部長	豊村 洋 <small>とよむら ひろし</small>
	学芸部長	五十嵐聡美 <small>いがらしさとみ</small>
	学芸統括官	土岐美由紀 <small>とき みゆき</small>
	総務企画課長	今村ちぐさ <small>いまむら</small>

## 1 これまでの検討経過

	令和3年度					令和4年度					
	5月	8月～	11月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
近代美術館における検討プロセス	学芸員への新しい近美イメージ意見提出依頼	学芸員による検討チームの立ち上げ、検討	検討チームによる将来像の完成		これまでの活動の振り返り	職員への意見聴取、館内での検討	ミッションたたき台検討	ステークホルダー意見聴取	ミッション案の検討	学芸員意見聴取、ミッション案完成	
					自館の現状把握 強み弱みの分析		<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置者及び関係者との対話</li> <li>・利用者との対話</li> <li>・他の博物館の関係者専門家等の意見聴取</li> <li>・館内での職員同士の対話</li> </ul>				
				館内での職員同士の対話	博物館全体を取り巻く状況確認						
これからの北海道立近代美術館検討会議				①今後の進め方等	②活動の検証		③ミッションたたき台		④ステークホルダー意見整理		⑤ミッション案検討

## 2 現在の検討状況（検討のポイント）

項目	内容
ビジョンの明確化	より道民に対し、メッセージが伝わりやすく、イメージしやすくなるよう「ビジョン」を明確化する。
ステークホルダーの意見を重視した検討	改めて、オープンハウスでの道民意見、新たなステークホルダーインタビューなどの意見を踏まえ、検討を進める。

（参考） 「使命・計画作成の手引き」  
平成16年3月（財）日本博物館協会より抜粋

- 2 使命や計画を創るための基礎資料
  - 【1】自館の現状を把握しよう
  - 【2】自館の強みと弱みを分析してみよう
    - ・設置者が求めていることを理解しよう
    - ・地域社会において果たすべき役割を把握しよう 等
  - 【3】博物館全体を取り巻く状況を認識しよう
- 3 「使命書」と「中長期計画」の作成
  - 【1】使命書をつくる
    - a 「使命書」づくりのポイント
      - ①使命の素材を集める。
      - ②良い「使命書」とは 読み手を意識する、簡潔であること 等
    - b 「使命書」原案を吟味する。
      - ①設置者及び関係者との対話②館内での職員同士の対話③利用者との対話
      - ④他の博物館関係者専門家等との意見交換

## 3 ミッション案決定に向けて

時期	内容
R4.12月	ミッション案策定後、美術館協議会委員への意見聴取を経て、第7回検討会議において、改めて、ミッション案を提示
//	道教委において、「ミッション案」を決定予定。 ※正式決定は、次年度パブコメ後

# 美術館利用者等の意見

## 1 意見聴取方法

区分	オープンワークショップ	ウェブアンケート
日 時	9月23日（金・祝）～25日（日）10:00～16:00	9月23日（金・祝）～10月22日（土）
会 場	近代美術館 2階ロビー	道教委ホームページ
対 象 者	近代美術館近隣にお住まいの方、美術館利用者を中心とした一般の方	
周知方法	新聞折込、ポスティングによるチラシの事前配布（近代美術館の近隣約37,000戸） 道教委ホームページ、Twitter等	
	国宝・法隆寺展入場チケット確認時のフライヤー配布 1～2階各所へのサイン設置	新聞紙面（全道）での広報（QRコード掲載）
実施方法	あり方検討に関するパネルの設置（説明3枚、シール投票3枚、自由意見2枚） パネル解説のスタッフ配置（常時4名程度） 双方向コミュニケーションによる意見聴取	左記パネルをウェブに掲載 Googleフォームを用いたボタン投票、自由記載
参 加 者	3日間合計 721名（9月23日：232名、9月24日：217名、9月25日：272名）	156名



近代美術館の  
ミライを  
考えよう



近代美術館のこれらを考えています

施設の老朽化や美術館を取り巻くニーズの変化を踏まえて、近代美術館の今後のあり方を考える時期にきています。

近美の開館からこれまで・・・



- 昭和 52 年 (1977 年) 7 月開館、築 45 年経過しています
- 建築面積 4,306m<sup>2</sup>/ 延床面積 9,160m<sup>2</sup>
- 鉄筋コンクリート造、地上 3 階・地下 1 階
- 北海道の美術、エコー・ド・パリ等の幅広いコレクションがあります
- テーマ性をもった常設展示や国内外の優れた芸術の特別展示を行なっています
- 講演会、学芸員等による展示解説、子ども向けワークショップ等の教育普及活動を行なっています

築 45 年が経ち・・・様々な課題が出てきました

- 社会の変容やデジタル化等の生活様式の変化、多様なニーズといった美術館を取り巻く状況の変化
- 常設展観覧者数の減少
- 予算の減少による事業の縮小
- 施設設備の著しい老朽化、収蔵庫等の狭小化
- 長寿命化改修不適 (改修時、収蔵品の移転場所なし)
- 隣接する知事公館エリアとの一体となった検討

都市部におけるみどり豊かな  
エリアにあります

近代美術館と隣接するエリアは、三岸好太郎美術館のほか緑地や知事公館が存在する緑豊かな貴重な場所で、エリア一体で、将来的なあり方について検討が必要です。



3つの検討を進めています

近代美術館のリニューアルに向けて、

- ① 専門家のご意見 (これからの北海道立近代美術館検討会議)
- ② 民間事業者のご意見 (サウンディング調査)
- ③ 道民等皆さまのご意見 (WEB アンケート・本日のシール投票と自由意見)

の大きく3つのご意見により検討を進めているところです。



① 専門家のご意見

「これからの北海道立近代美術館検討会議」

これまでの美術館活動を検証し、今後求められる役割等について、5名の有識者のご意見を踏まえながら検討を進めています。

第1回 令和4年(2022年)2月1日(火)

- これまでの経過
- 道民アンケート
- 今後の進め方

第2回 令和4年(2022年)3月1日(火)

- 近代美術館の活動の検証①

第3回 令和4年(2022年)5月12日(水)

- 近代美術館の活動の検証②
- 新しい近代美術館のミッション

第4回 令和4年(2022年)7月20日(水)

- 近代美術館のミッション等に関する意見聴取の状況
- 今後の進め方

第5回 令和4年(2022年)9月7日(水)

- 近代美術館のミッション案等
- 施設設備の現状と課題



ミッションおよびコンセプト案の検討を進めています

「これからの北海道立近代美術館検討会議」では、現在、関係者への聞き取り調査を元に、ミッションとコンセプトの(案)を作成しています。第5回の検討会議時点での案をご紹介します。

MISSION | 今後の近代美術館の使命や役割

北海道立近代美術館は、すべての道民が美術の持つ豊かさを享受できる社会づくりの場となります。また、多様性の尊重等、今日の課題を視野に入れながら、創造的で公共的な美術館活動を進めることによって、未来に向かって進む北海道のシンボルとなります。

CONCEPT | ミッション達成に向けた概念、基本的思想

伝える	基本機能の進化
刺激する	感性と好奇心の活性化
包み込む	包摂とアクセシビリティの向上
招く	居心地のよい施設と環境
結ぶ	ネットワークの拡張と地域との協働

「これからの北海道立近代美術館検討会議」の詳細はホームページをご覧ください



② 民間事業者のご意見

サウンディング調査

民間事業者等から対象エリアの有効活用など、全体のあり方について市場性や活用に関するご提案をいただくため、サウンディング型市場調査を実施しました。

① 令和4年(2022年)6月21日(火)～22日(水)

現地説明会・見学会 / 23事業者参加

② 令和4年(2022年)8月2日(火)～4日(木)、9日(火)

個別サウンディング / 21事業者(一部複数提案 24提案)参加

サウンディング型市場調査とは  
公共施設・用地などの活用に関して、民間事業者に意見や提案などを求め、市場性の有無、アイデアの収集等をおこなう調査のことです。



調査の中では、アイデアあふれる提案をたくさんいただきました!

近美エリアについて



エリア全体を芸術関連の交流の場に



豊かな緑を活かした屋外アート空間

大規模など自然環境を活かした限界集約の先進的な取組

都心の自然豊かな憩いの場として、美術館と緑地を一体的に活用

回遊性を向上させ地域コミュニティの場に

いろいろなイベントが開催できる緑地空間

森とアートの観覧エリア

埋蔵文化財などの歴史を際立たせる空間



レストラン、カフェなど周辺環境を豊かしながら滞在できる施設

清流の水場を活かした自然を際立たせる空間

その他の提案

- 市道の廣道や通行止めによるエリア全体での活用を検討
- 柵の撤去等による開放的な活用を検討
- 知事公館自体は外観の雰囲気を残す

③ 選民等皆さまのご意見

シールで投票！近美のミライ

□ 特内にシールを貼ってくださいね！

あなたのことについて教えてください  
どちらにお住まいですか？

札幌市内

道内

道外

おいくつですか？

～19歳

20～29歳

30～49歳

50～69歳

70歳～

③ 選民等皆さまのご意見

シールで投票！近美のミライ

□ 特内にシールを貼ってくださいね！

こんな美術館だったら良いなと思うことについて、A～Dそれぞれから1つずつシールを貼ってください

美しく

A 美と創造の歴史を現在・未来に伝える、地域の誇りとなる上品な美術館

下の3つから1つ選んで貼ってください

美術作品の価値や地域の美術史を広く伝えていくこと	感性と好奇心を刺激する展覧会を開催すること	周辺街区からの風景や歴史的な建物を大切にすること
--------------------------	-----------------------	--------------------------

B 利用しやすく、誰もが楽しめる企画やみなさんの居場所がある親しみを感ずる美術館

下の3つから1つ選んで貼ってください

親しみ

ユニバーサルデザイン等によって、誰もが利用しやすいこと	いろいろな世代が楽しめる・体験できる・触れられるプログラムがあること	オンライン見学やデジタルアーカイブなど、距離や時間に捉われず、展示や見学が楽しめること
-----------------------------	------------------------------------	---------------------------------------------

③ 選民等皆さまのご意見

シールで投票！近美のミライ

□ 特内にシールを貼ってくださいね！

C 未来に向けて地球環境に配慮し、都心の緑のなかで自然と調和した美術館

下の3つから1つ選んで貼ってください

自然・環境

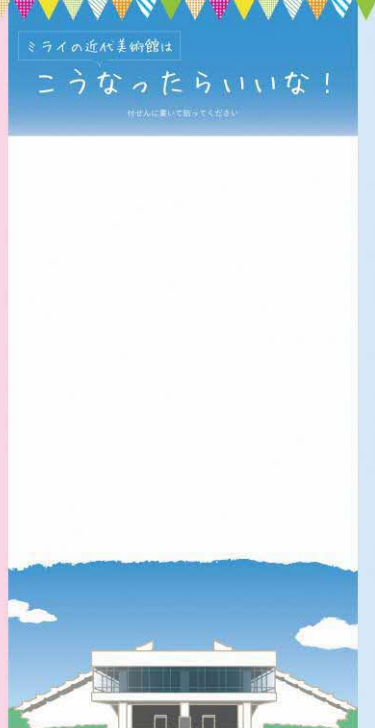
都心にありながらみどり豊かで、居心地が良く、憩いの場であること	屋外での展示やイベントの開催など、近美の建物の外でも楽しめること	自然環境に配慮した建築やデザインがあること
---------------------------------	----------------------------------	-----------------------

D 学べる活動があり、地域との協働によってこれからの人や地域を育む美術館

下の3つから1つ選んで貼ってください

育む

多くの人が学ぶことのできる取り組みや、美術に携わる人を育てる活動があること	道民や地元作家の美術活動を支援すること	様々な人々と協働し、美術を通して地域を元気にしていくこと
---------------------------------------	---------------------	------------------------------



住まい	札幌市内／道内／道外
年齢	～19歳／20～29歳／30～49歳／50～69歳／70歳～
A 美しさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術作品の価値や地域の美術史を広く伝えていくこと</li> <li>感性と好奇心を刺激する展覧会を開催すること</li> <li>周辺街区からの風景や歴史的な建物を大切にすること</li> </ul>
B 親しみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン等によって、誰もが利用しやすいこと</li> <li>いろいろな世代が楽しめる・体験できる・触れられるプログラムがあること</li> <li>オンライン見学やデジタルアーカイブなど、距離や時間に捉われず、展示や見学が楽しめること</li> </ul>
C 自然・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心にありながらみどり豊かで、居心地が良く、憩いの場であること</li> <li>屋外での展示やイベントの開催など、近美の建物の外でも楽しめること</li> <li>自然環境に配慮した建築やデザインがあること</li> </ul>
D 育む	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が学ぶことのできる取り組みや、美術に携わる人を育てる活動があること</li> <li>道民や地元作家の美術活動を支援すること</li> <li>様々な人々と協働し、美術を通して地域を元気にしていくこと</li> </ul>

ステークホルダーや民間事業者の意見を踏まえ、近美が大切にすべきことや、近美に期待することを、4つの大項目に分け、それぞれ選択肢を3つ用意

選択肢3つのうち1つをシール投票してもらう

説明パネルにより現状を知ってもらい、シール投票を通じて、近美に対する思いを考えてもらうことで、多くの方から自由意見をもらえるように工夫

美しさ

親しみ

美術の文化をつなぐ

地域や生活とつながる

周辺街区を含む広域

近美・知事公館の街区

近美の取組み・建物・緑

・知事公館、三岸好太郎美術館との一体的に文化・芸術を発信するエリアになったらいいな！[15]

- ・芸術を通して人々が幸せを感じられるような、豊かな心が育つような場になってくれたらいいな！[8]
- ・これからも北海道の美術館の中心的な存在として、地域を牽引していいな！[12]
- ・世界にも誇れるような、観光資源にもなりうる美術館になってくれるといいな！[13]
- ・展示エリアや資料室がもっと広く充実するといいな！[17]
- ・今の近美の建物の良いところを残して、大事に使ってくれるといいな！[19]
- ・近美の建物自体がアートとして魅力あるものになったらいいな！[8]
- ・落ち着いた雰囲気・環境のある美術館だといいな！[4]
- ・「近代」とはわれずに、「今」の日本や世界のアートを体感できるといいな！[3]
- ・北海道ではなかなか見られないものや、全国・世界の作品が楽しめるといいな！[7]
- ・国際的に有名な作品がみられるといいな！[5]
- ・今まで以上にもっとたくさんの、様々なジャンルの展覧会が開催されるといいな！[13]
- ・国内や海外の美術館や博物館と連携した催しがあるといいな！[3]
- ・近美コレクションを生かした自主企画、常設展が充実するといいな！[6]
- ・作家・作品、展覧活動、研究に関するアーカイブを作れるといいな！[3]
- ・近美の場所はそのままだに、施設が生まれ変わるといいな！[8]

- ・地元作家の作品展示、活動支援によって地域との密着性が強まるといいな！[7]
- ・子どもたちの好奇心を刺激し感性が育まれる展示や体験プログラムがあるといいな！[10]
- ・芸術教室など学びの機会や、道民の文化活動ができる場所や企画があるといいな！[11]
- ・道民が利用できる市民ギャラリーや工房等、創作や発表の場があるといいな！[5]

- ・もっと気軽に来れるように、駐車場が充実するといいな！[20]
- ・もっとオープンで気軽に入りやすくなる開放感があるといいな！[7]

- ・誰もが気軽に立ち寄れて、地域と共に成長していけるような場になるといいな！[6]
- ・いろんな人が美術に刺激を受け、次の興味につながる場になるといいな！[6]
- ・市民にとっての親しみやすさ、わかりやすさを追求した美術館になるといいな！[8]
- ・展示を見学しないときも、散歩だったり、ゆっくり過ごしたり生活の一部として美術館に立ち寄れるといいな！[23]
- ・いろんな世代の方が楽しみ、出会えるような美術館になるといいな！[12]
- ・学校との連携やワークショップなど、小さい頃から親しみを持つ機会があるといいな！[8]
- ・子どもが気軽にアートを楽しめる美術館になったらいいな！[14]
- ・子どもが休んだり遊べたりする空間があって、家族で楽しめる美術館になるといいな！[7]
- ・遊べる場所や絵を描ける場所があるといいな！[3]
- ・誰もが興味を持ちやすいイベントや企画、体験コーナーがあるといいな！[19]
- ・若者や学生がみんなで見学できる空間があるといいな！[3]
- ・テラス席などのある、気軽に利用できるカフェがあるといいな！[12]
- ・食事ができるレストランがあるとゆっくり利用できていいな！[11]
- ・美術に関する書籍や読書スペースがあったり、図書館のように気軽に立ち寄れる場になったらいいな！[6]
- ・夜間も開館していたり、夜間のイベントがあるともっと気軽に利用できていいな！[16]
- ・様々な表現方法での展示が楽しめるといいな！[9]
- ・デジタル技術を活用して、美術作品がアーカイブやオンラインで見学できたり来館が難しい人も楽しめるようになるといいな！[7]
- ・誰もが使いやすいトイレやエレベータ、休憩できる椅子の充実などユニバーサルデザインで施設が生まれ変わるといいな！[26]

- ・屋外の自然と融合した作品展示やイベント開催があるといいな！[12]
- ・手入れがいきとどいた開放感のある庭になるといいな！[9]

- ・知事公館と一体的に、みどりを広く活用できるといいな！[5]
- ・建物と自然が一体的に、みどりに囲まれた美術館だといいな！[22]
- ・都心部の中の豊かな今ある自然を大切に、守り、残してくれるといいな！[20]

美術の文化をひろげる

自然と共生する

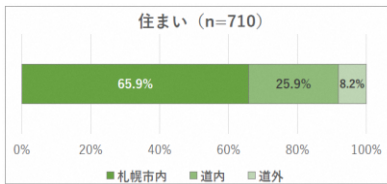
育む

自然・環境

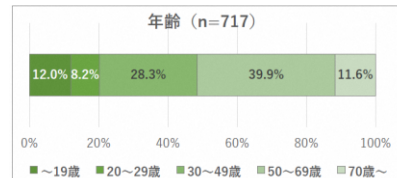


# 5 シール投票結果（速報値）

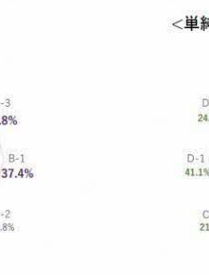
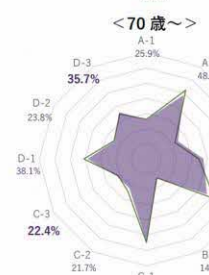
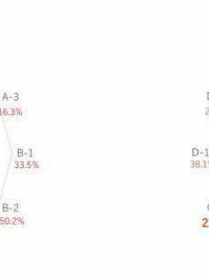
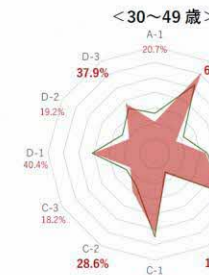
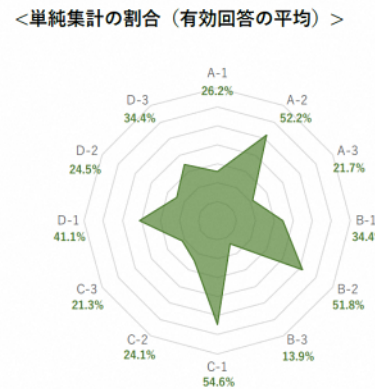
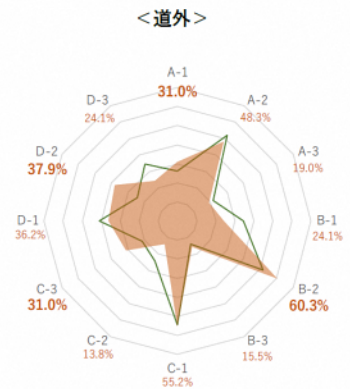
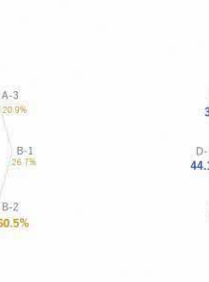
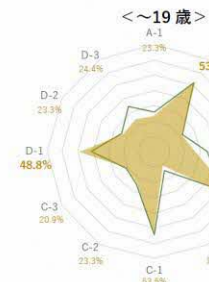
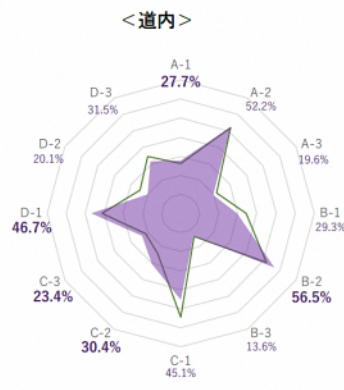
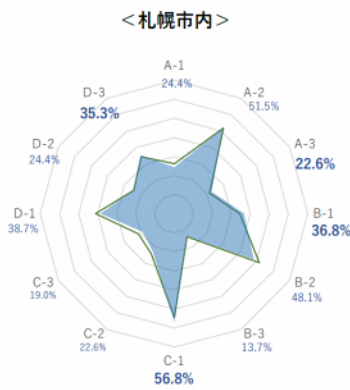
「単純集計の割合（有効回答の平均）」と住まい、年齢別回答を比較すると、住まいや年齢によって、重要度の差が見られる。



項目	回答数
札幌市内	468
道内	184
道外	58



年齢	項目	回答数
	~19歳	86
	20~29歳	59
	30~49歳	203
	50~69歳	286
	70歳~	83



凡例 太字：他属性よりも関心の高い項目（単純集計割合を上回る項目） / -：単純集計割合（有効回答の平均）

凡例 太字：他属性よりも関心の高い項目（単純集計割合を上回る項目） / -：単純集計割合（有効回答の平均）

A-1 美術作品の価値や地域の美術史を広く伝えていくこと	C-1 都心にありながらみどり豊かで、居心地が良く、憩いの場であること
A-2 感性と好奇心を刺激する展覧会を開催すること	C-2 屋外での展示やイベントの開催など、近隣の建物の外でも楽しめること
A-3 周辺街区からの風景や歴史的な建物を大切にすること	C-3 自然環境に配慮した建築やデザインであること
B-1 ユニバーサルデザイン等によって、誰もが利用しやすいこと	D-1 多くの人が学ぶことのできる取り組みや、美術に携わる人を育てる活動があること
B-2 いろんな世代が楽しめる・体験できる・触れられるプログラムがあること	D-2 道民や地元作家の美術活動を支援すること
B-3 オンライン見学やデジタルアーカイブなど、距離や時間にとらわれず、展示や見学が楽しめること	D-3 様々な人々と協働し、美術を通して地域を元気にしていくこと

※太字=札幌市内の関心が高い事項 ※赤字=若い世代の関心が高い事項